

西播磨きざらきざら通信

〈西播磨地域ビジョン情報誌〉 相生市・たつの市・赤穂市・宍粟市・太子町・上郡町・佐用町

2022.03
No.42



1～7はどこの風景でしょう？
(答えは中面へ)



contents

委員長挨拶
活動紹介(第10期推進チーム)
編集後記
西播磨の新しい将来ビジョン

発行 西播磨地域ビジョン委員会



住んでみたい、住んで良かった西播磨へ



委員長挨拶

門田 守弘



Chairman

社会潮流の変化である、人口減少・超高齢化、新型コロナウイルスの流行、気候変動、持続可能性の重視等を踏まえつつ、西播磨地域ビジョンの基本姿勢「光と水と緑でつなぐ元気・西播磨」の実現に向け、令和2年4月より第10期西播磨地域ビジョン委員会の6つのチームが西播磨各地に足を運び、対話と学びの場づくりに励みました。

活動は感染症流行のため、思うように進まない時期もありましたが、ビジョン委員と西播磨地域の県民の皆さまの協力と努力のおかげで、それぞれのチームが成果をあげることができました。西播磨県民局では2050年を展望した新地域ビジョンの策定も進めています。

そのような中ですが、西播磨地域ビジョン委員会は今期をもって終止符を打つことになりました。20年間の長きに亘り地域のリーダーとしての役割を担い、西播磨地域に貢献されたビジョン委員の皆さまに敬意を表するとともに、西播磨地域の県民の皆さまには多大なる協力をいただき、改めて感謝と御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。



活動紹介



思いやりが育つ、心が育つ



園児への絵本の読み聞かせ

一人でも論語の素読をしようとする意欲も出ていて、心の成長がうかがえます。

人としてのあり方が説かれています。

始めに明るく元気に挨拶をした後、2分間の黙想をします。始めた頃はざわざわしていました。今では心を落ち着けて黙想ができるようになりました。



私たちは、子どもたちの情操豊かな心を育てるため、こども園（5才児対象）で、論語の素読、絵本の読み聞かせ、昔遊び等を行っています。

中でも論語には美しい言葉で

また、西播磨地域の中学生に夢と希望を与える取組として、3月30日に『元日本代表選手と語るう！』と題し、ヴィクトリーナ姫路取締役球団オーナーの眞鍋政義氏、同取締役球団副社長の竹下佳江氏と中学生との意見交換会を開催しました。

参加した中学生（22名）にトップアスリートの技術や心構えを教えて頂き、参加者から喜びの声がありました。

中野愛子(記)



元バレーボール日本代表選手と中学生の懇談会

地区防災計画作成マニュアルDVD



かかしチーム

かかしチームでは地域の自主防災組織の現状や課題を調査し、改善点を提案する等、「命を守る避難行動」の一助となるような活動を行ってきました。1年目は、たつの市、赤穂市の自主防災組織を訪問し交流と実態調査を行いました。



災害図上訓練を実施

地区防災計画作成マニュアルDVD 作りました！

西播磨地域ビジョン委員会かかしチームでは、地区防災計画の疑問に対して「自分の命は自分で守る」を第1優先に被災・防災の一助となるよう自治会や自主防災組織向けに【地区防災計画作成マニュアルDVD】を制作しました。

各自治会、1セット無料でお配りしますので、ご希望の方は下記の問合せ先にご連絡ください。

収録内容
・地区防災計画作成基本パターン作成例
・避難訓練要領書作成例 など

監修
兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科
阪本真由美教授



災害図上訓練の様子



地区防災組織訓練の様子

問合せ先
西播磨地域ビジョン委員会事務局
(西播磨県民局県民交流室県民活動支援課)
〒678-1205 赤穂郡上郡町光都2-25
TEL:0791-58-2128

2年目は、赤穂市坂越上高谷地区の避難訓練に前段階から訓練当日まで参加させていたただける機会を得て、改善点等をまとめました。2年間の活動結果として、自治体、自主防災組織向けの「地区防災計画作成マニュアル」の必要性を強く感じ、DVDにまとめました。DVD内には、「タイムライン作成のポイント」、「避難訓練実施要領書」等を、かかしチームイメージキャラクター「かかしちゃん」のイラストと共に、音声付きで収めていますのでご活用ください。

武本篤治(記)

「地区防災計画作成マニュアル」チラシ



西播磨の豊かな自然を 次の世代へ引き継ぐ

ふるさとつづり チーム



「千種川源流を守る会」の皆さんと記念撮影

西播磨の豊かな自然を子どもたちに残していきたいという思いで、活動を実施しました。揖保川についての調査と千種川についての研究でしたが、両活動とも非常に有益なものでした。揖保川については姫路河川国道事務所で聞き取り調査を行い、環境保全や防災への取組状況を学びました。

千種川については「千種川源流を守る会」の関係者にお話を伺いました。清流の保存のために植樹して土壌を作り、源流へ豊かな栄養を送ることで生態系を守っているというお話は大変印象に残っています。活動を通じて、山・川・海が循環し、この豊かな自然が守られていることにあらためて気づかされました。長い将来、子供たちが笑顔で安心して遊び暮らせる自然環境を残すために、植樹のボランティア活動に参加するなどが、私たち一人ひとりができることを考え、行動することが大切だと感じました。

池内義明(記)
炭田哲也(記)



千種川源流周辺の現地調査



ちょっと不便な生活が地球を守る



脱便利生活 チーム

折しも、脱石油社会を目指す気運もあり、石油由来のプラスチックに頼らない生活はできないのかと、学習を行いました。

私たちは、食品廃棄、プラスチックの大量消費等による便利生活が、社会に問題点を残しているのではないかと考え、「脱便利生活」を取り組むことにしました。



プラスチックに関する勉強会



生活協同組合コープこうべ 環境推進 大谷様による講座

分別収集されたプラスチックは、再使用されずに焼却してしまいますが、石炭焼却時に比べ、数倍の二酸化炭素が発生します。今では、東南アジアの国々も輸入禁止となり、繊維や容器、建築材料としての利用がわずかにあるだけです。優れたプラスチックの特質を、他のものに置き換える困難さを痛感しています。

結論として、リサイクル、分別回収を続け、食品の量り売り等を推奨する店舗やスーパーが増えることを望み、活動の成果といたします。

金治正和(記)
村上英雄(記)



1300年の時を経て、西播磨を輝かせているのは「人」



令和 西播磨風土記づくり チーム



上郡町「ギャラリーひがし蔵(東蔵)」さんへ取材

『播磨国風土記』は、奈良時代の文化風土、産物や地勢等が記されている地誌で、現代の私たちに1300年前の故郷の様子をありありと伝えてくれている貴重な宝です。私たちのチームは、西播磨の令和版風土記をつくらうと活動してきました。

新たな風土記では地域の魅力を作っている「ひと」や「団体」に光をあて、15ヶ所を訪問し、取材、意見交換をさせていただきました。



赤穂緞通「弥生工房」さんへ取材

歴史や伝統を未来に残す、新たな魅力を作る、新しい課題に取り組む等、活動理由は様々ですが、全体を通じて、後継者不足という課題や団体・地域を超えてのネットワーク作り・交流が必要だということが見えてきました。そして皆さんの何よりの共通点は「西播磨が大好き」という想いでした。

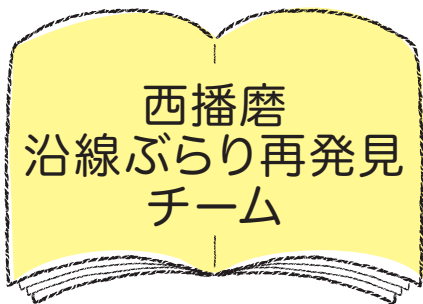
和田みな(記)

成果物として、報告書『令和西播磨風土記』発刊とそれを補足する取材記事をホームページにアップしました。

令和版風土記は作って終わりではありません。さらに多くのひとや団体が交流し、新たな動きが生まれる一助となることを願っています。



西播磨沿線駅をぶらり再発見



沿線ぶらり再発見JR赤穂線編表紙

西播磨地域には、JR山陽本線、JR赤穂線、JR姫新線、及び智頭急行(株)智頭線で23の駅があります。近年、各駅の利用者数減少が目立ちつつあります。



JR赤穂線の備前福河駅

私達は、これらの駅を訪ねて地元の方々と触れ合い、紹介したい駅周辺の見所などを再発見することができました。この体験を全国の方々にも知ってもらい、西播磨地域沿線各駅と駅周辺地域の活性化を目指そうという企画をしました。成果物は、兵庫県ホームページやDVDに残しています。内容は、「駅名の由来と歴史」、駅周辺の「見どころ・特産品」などです。西播磨地域沿線の玄関口【駅】をぶらり訪ねて、地域の人々との会話をゆっくゆっく楽しんでみてはいかがでしょうか？

吉岡弘(記)



兵庫県ホームページ (西播磨地域ビジョン委員会)



Facebookページ (ネットde応援隊)



編集後記

第10期西播磨地域ビジョン委員会の2年間の活動は、新型コロナウイルス感染症による活動制限の中となりましたが、6つの推進チームがテーマに沿った取り組みを意欲的に行っていました。

さらさら通信42号では、地域にある遺産を観光にいかす活動、安心安全な生活をめざす活動、環境に関わる活動、若者の教育に関する活動等、今後の生活環境、社会を考える上で示唆に富んだ内容になっており、平成13年に西播磨地域ビジョン委員会が設置されて以来、歴史に恥じないかけがえのない活動を紹介し掲載しています。

これからも多くの方々の力添えを頂き、西播磨地域の発展を願います。

副委員長 村上英雄

表紙クイズの答え

- ①最上山(宍粟市) ②ペーロン祭り(相生市) ③金出地ダム(上郡町)
- ④斑鳩寺(太子町) ⑤世界の梅公園(たつの市)
- ⑥ひまわり畑(佐用町) ⑦坂越地区旧市街地(赤穂市)

西播磨地域ビジョン2050ができました!

人口が減っても活力を保ち豊かに暮らし続けられる地域をつくるにはどうしたらいいのか、西播磨地域の皆さんのご意見をもとに、新しい地域ビジョンをつくりました。



〈新しい地域ビジョンは西播磨みんなの目標〉

新しい地域ビジョンは、県民意見をもとに、皆さんが共感できる地域の将来像とそれを実現するための取組の方向性として、4つの将来像と16の取組目標を描きました。西播磨地域の多様な主体が協力して取り組んでいくための目標として提案しています。

〈めざす姿：光と水と緑でつなぐ元気西播磨〉

豊かな歴史や自然の景観、受け継がれる産業、温かい人のつながりなど、西播磨の魅力がすみずみまでネットワークで結び地域が元気に躍動することをめざします。



〈4つの将来像と16の取組目標〉

つながる地域の きずな西播磨

地域でともに
支え合う
繋がりのあるまち



元気な西播磨

地域の強みを
活かした賑わいと
活力のあるまち



自立の西播磨

地域で循環するまち



安全安心の西播磨

誰もが安心して
いきいきと
暮らせるまち

